

# 東京都の地域医療構想

構想区域（二次保健医療圏）ごとの病床配分は適正か？

TMA近未来医療会議  
第2クール公開シンポジウム  
2022年9月16日 土谷明男

## 地域医療構想の目的

過剰な病床の削減による医療費削減

切れ目のない提供体制の構築

# 地域医療構想とCOVID-19

病床数については反対向き



COVID-19 : 病床確保

地域医療構想 : 病床削減



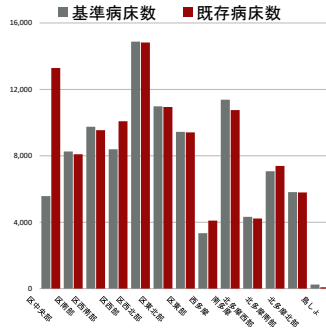
## 東京都の病床配分

# 病床配分（令和4年度）

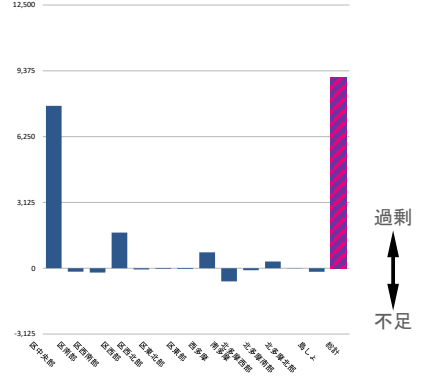
構想区域（二次保健医療圏）ごとの配分は適正か？

区分	二次保健医療圏	構成区市町村	基準病床数 (千人)	既存病床数 (千)	差 (△) 予定 (□) 平成 (○) 過去 (△)	
療	都中央部	千代田、中央、墨、文京、台東	5,576	13,290	7,714	
		区東部	品川、大田	8,257	8,096	△ 161
	区西部	目黒、豊田、目黒	9,749	9,542	△ 207	
		区南部	新宿、中野、杉並	8,390	10,082	1,692
	区北部	豊島、北、板橋、練馬	14,880	14,823	△ 57	
		区東北部	荒川、足立、墨田	10,978	10,843	△ 35
	区東部	葛飾、江東、江野川	9,446	9,409	△ 37	
		区多摩	国分寺、国立、国分寺、国分寺、国分寺、国分寺、国分寺、国分寺	3,342	4,094	752
	療	都全線	八王子、前橋、日野、多摩、瑞穂	11,381	10,755	△ 626
			北多摩西部	立川、国分寺、国分寺、国分寺、国分寺、国分寺、国分寺、国分寺	4,322	4,225
療	北多摩西部	武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、国分寺	7,067	7,388	321	
		北多摩中部	小平、東村山、西東京、清瀬、東久留米	5,810	5,796	△ 14
療	北多摩西部	大宮、羽生、熊谷、鴻巣、三幸、羽生、大宮	248	80	△ 168	
		都計	99,446	108,523	9,077	
療	都内全域	精神病床	18,576	21,002	2,426	
		急性期病床	254	378	124	
		慢性期病床	132	124	△ 8	

構想区域ごとの病床数



構想区域ごとの過不足



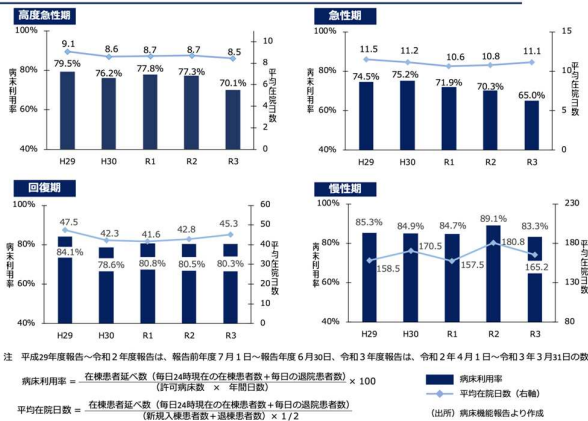
令和4年度は都全体で9,077床が過剰だが、国の計画に従い、更に1,402床を配分予定(10,479床の過剰)

出典 令和4年度第1回東京都地域医療構想調整会議 資料4

# 都内の病床利用率は高くない

いずれの機能でも利用率が低下している

【参考】都内の機能別の病床利用率・平均在院日数の推移



- 高度急性期：70.1% (75%)
- 急性期：65.0% (78%)
- 回復期：80.3% (90%)
- 慢性期：83.3% (92%)

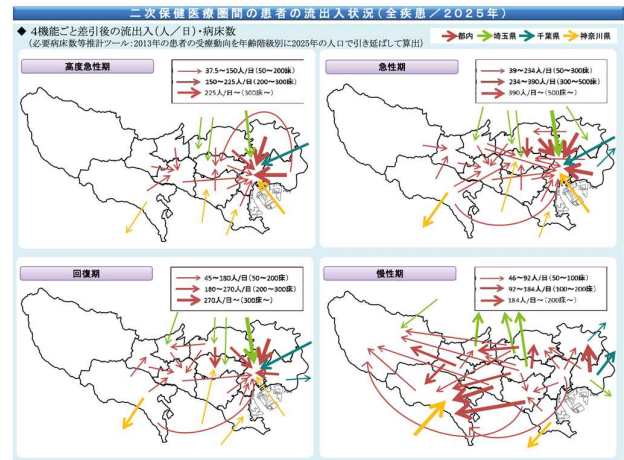
( ) 地域医療構想で定めた機能別の病床稼働率  
稼働率：24時時点の在院患者数÷当日の入退院数  
利用率：24時時点の在院患者数のみ

出典 令和4年度第1回東京都地域医療構想調整会議 参考資料1

# 東京都の特徴

構想区域(二次医療圏)は閉じていない

- ◆二次保健医療圏を超えて移動している
- ◆構想区域ごとに配分する根拠は？



出典「東京都地域医療構想」

## 病床配分の課題

- 既に都全体では過剰
- 計画通りなら約1割増し(いずれ削減)
- 構想区域ごとの配分でいいのか？